



# Social 社会

## サステナビリティポリシーの基本原則 「ダイバーシティの促進、および従業員の福祉への配慮」

オリックスのサステナビリティポリシーでは、日々の業務で実行すべき基本原則の一つとして「ダイバーシティの促進、および従業員の福祉への配慮」を定めています。

### 「ダイバーシティの促進、および従業員の福祉への配慮」

オリックスは、従業員のダイバーシティを尊重し、それぞれの能力や専門性を最大限に生かせる機会と職場環境を提供します。さらに、オリックスは事業を行う国・地域において、その文化や慣習を尊重し、環境に配慮し、経済・社会の発展に貢献します。また、安全で安心な職場環境を確保するとともに、一切の差別を許容しません。

## 社員との関わり

### オリックスの人材戦略

「Keep Mixed」という考えのもと、  
社員それぞれの能力・専門性を最大限に生かす

オリックスにとって、最も大切な財産は「人」です。国籍、年齢、性別、職歴問わず、多様な人材を受け入れることで多様な価値観や専門性による「知の融合」を図り、新たな価値を生

み出す「Keep Mixed」という考えのもと、社員それぞれの能力、専門性を最大限に生かせる職場づくりを目指しています。

具体的には、働きがいのある職場づくりの一環として、多様な働き方を尊重し、社会情勢に先駆けた形で職場環境の整備、人事制度の改革を行っています。また、チャレンジする人にチャンスを与え、グローバルで活躍できる人材の育成を強化しています。

### 目指すべき人材像

#### Creativity

～絶えず新たなビジネスを自ら創り出す人材～

#### Challenge

～「高い専門性」を身に付け、  
「チャレンジ」し続けられる人材～

#### Team Play

～多様な価値観を認め、周囲を巻き込みながら  
主体的に行動できる人材～



## 「Keep Mixed」実現に向けた取り組み

「Keep Mixed」を実現するために、ダイバーシティ&インクルージョンの推進とすべての社員にとって価値ある職場づくりに取り組んでいます。

### ダイバーシティ&インクルージョンの推進

世の中の変化に伴い、働き方の多様な選択肢へのニーズがますます高まっています。社員がそれぞれの能力や専門性を最大限に生かしながら、ライフイベントに応じた多様な働き方ができるように、ダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。

#### ■ 女性活躍推進

オリックスでは、男女雇用機会均等法が施行(1986年)される以前の1982年から、大卒の女性を総合職として採用し始めるなど、いち早く女性の活躍推進に取り組んできました。それに合わせて人事制度も拡張してきましたが、制度の拡充だけでなく、戦略的に社員の意識改革を促す取り組みも積極的に行ってきました。オリックス(株)の女性管理職比率は、2014年

3月末時点の18%から2020年3月末には25.3%となっています。今後も女性のキャリアアップ・役割拡大・能力発揮のためのキャリア支援策を強化し、女性活躍推進を継続して進めていきます。

#### ■ シニア社員の活躍推進

健康寿命の伸長や、年金の支給開始年齢の引き上げなどに伴う経済的な理由により、シニア社員の就労意欲は高まっています。また、企業にとってもシニア社員がこれまでの業務で培った知識やスキルは、貴重な財産です。オリックスではシニア社員が安心して働ける環境を整えたいと考え、2014年4月に定年を60歳から65歳に引き上げました。多くの経験や専門性を持つシニア社員がチャレンジを続け活躍してもらうことが、企業の組織力や活力を高めることにつながると考えています。

#### ■ 障がい者雇用促進

オリックスでは、障がい者雇用を促進するため、2007年4月に「オリックス業務支援株式会社」(特例子会社)を設立しました。現在、東京(立川)と大阪の2カ所に事業所があり、グループ各社から定型業務を受託することにより、オリックスグ

ループの業務効率の推進に寄与しています。2020年4月1日現在、69名の障がい者と9名の指導員が勤務しており、契約書の印刷・発送、保管文書の電子化、DM封入などの事務業務、営業車両の洗車・点検業務、清掃業務に加え、社員向けカフェの運営にも携わっています。

#### ■ キャリア採用・海外での新卒採用

オリックスは、事業の変化に応じた多様な人材を確保するために、キャリア採用や海外での新卒採用にも注力しています。会社設立時より積極的にキャリア採用を進めており、その前職は金融だけではなく、製造業、コンサル、商社、不動産、サービスなどさまざまです。2020年3月期に入社した社員の66%がキャリア採用\*です。また、2016年からは日本国内の留学生だけではなく、中国、台湾、韓国の大学でも新卒採用を実施するなど、多様な価値観を持つ学生の採用に力を入れています。

\*オリックス、オリックス・レンテック、オリックス自動車、オリックス・クレジット、オリックス不動産、オリックス・システム、オリックス銀行、オリックス生命保険、オリックス環境、オリックス債権回収の国内10社合計。

## 価値ある職場づくり

価値ある職場とは、社員が健康的に安心して生き生きと働き、それぞれの能力が最大限に発揮できる働きがいのある職場環境です。すべての社員にとって価値ある職場となるよう、さまざまな取り組みを推進しています。

### ■ 職場改革推進プロジェクト

2016年からは、CEO直轄の「職場改革推進プロジェクト」が始動しており、働き方支援施策の拡充、改善と社員の意識啓発に取り組んでいます。

#### <プロジェクトから生まれた新たな人事制度の事例>

スーパーフレックスタイム制度	既存のフレックスタイム制度からコアタイムを廃止し、働く時間の柔軟性を高めた制度。
時間単位の年次有給休暇制度	有給休暇をより活用できるように、1時間単位で年次有給休暇が取得できる制度。
リフレッシュ休暇取得奨励金制度	リフレッシュを目的とした年次有給休暇を5営業日連続で取得した場合に奨励金を支給する制度。
社内インターン制度	一定期間、希望する部署で業務に従事できる制度。自律的なキャリア形成を促すことが目的。
自分磨き制度	職場改革を推進することで生まれた時間を社員が有効活用できるよう、会社が金銭面で支援する制度。

▶▶▶ [人事制度](#)

▶▶▶ [人材育成体系](#)

### ■ 従業員満足度調査

社員が仕事に対して日頃どのように感じているのかを調査し、今後のさまざまな人事施策などに生かすために、2004年以降、従業員満足度調査(モラルサーベイ)を導入しています。調査結果は、人事施策決定の参考、あるいは現在実施している人事施策の効果の検証に利用しています。

## 社員の健康と安全

オリックスでは、大切な財産である社員一人一人が能力を最大限に発揮し、心身ともに健康で生き生きと長く働き続けることができるよう、事業主と健康保険組合が一体となって社員の安全・健康の向上を目指した取り組みを推進しています。具体的には、グループ各社ごとの特性を踏まえた健康増進対策として、「早期発見による早期治療」「重症化予防」「若年層に対する生活習慣病予防」をテーマに、さまざまな取り組みを実施しています。安全面においては「教育・研修」「安全運転管理」「災害発生時対応マニュアルの制作」などにより、多様な人材の活躍を支援しています。

▶▶▶ [社員の健康と安全](#)

## サステナビリティポリシーの基本原則 「人権の尊重」

オリックスのサステナビリティポリシーでは、日々の業務で実行すべき基本原則の一つとして「人権の尊重」を定めています。

## 人権への取り組み

オリックスは、事業活動において企業として果たすべき社会的責任があること、その責任の一環として人権の尊重が必須であることを認識しています。2019年9月に策定した「オリックスグループ 人権ポリシー」では、世界人権宣言や、国連のビジネスと人権に関する指導原則などに示される基本的な人権を尊重し、グループ内における人権に対する取り組みを推進すること、またお取引先企業に対して人権を尊重した事業活動を要請することを定めています。

▶▶▶ [オリックスグループ 人権ポリシー](#)

### 英国現代奴隷法 (Modern Slavery Act 2015)への対応

オリックス株式会社は英国国内で、連結子会社のORIX Corporation UK Limitedを通じて事業活動を実施してい

### 「人権の尊重」

オリックスは、世界人権宣言や、労働における基本的原則および権利に関する国際労働機関(ILO)宣言など国際的基準で定義されている人権を支持します。これらには、結社の自由、団体交渉権、強制労働の排除および児童労働の廃止が含まれますが、これらに限定しません。

ることからMSAの対象となっており、本法に基づく声明を公表しています。

▶▶▶ [英国現代奴隷法に関する声明](#)

### 人権の尊重を実現するための取り組み

#### 人権リスクの分析と評価

事業活動に関わるリスク全般を把握する目的で、外部の専門家と協働し、事業分野別のリスクプロファイル分析を行い、その結果をもとに自社が事業を展開する中で人権リスクの特に高い地域と、事業分野・活動を特定しています。また、2019年9月に策定した「オリックスグループ サステナブル投資融資ポリシー」に基づき、強制労働・児童労働などの人権リスクや、人権リスクの高い地域における問題を含む投資融資案件のESGリスク評価を行っています。ESGリスク評価では、第三

者機関が提供するデータベースの情報なども活用しています。人権リスクの分析と評価を通じて、事業活動における人権への配慮の実践に取り組み、人権侵害の予防にも努めています。

#### 人権に関する相談・通報窓口の設置

内部通報制度および外部通報制度を設け、人権に関する相談や通報を受け付けています。制度の利用対象は、内部通報制度はグループ全社員、外部通報制度はお取引先です。ハラスメントなどの人権侵害の相談や、人権に関する意見を受け付けています。

▶▶▶ [内部通報制度](#)

▶▶▶ [外部通報制度](#)

## 事業を通じた社会課題への貢献

### 高齢化社会対策／安心で健康な暮らしの実現

オリックスは、高齢者が安心して暮らすことのできる社会の形成に向けて、高齢化の進む社会が抱える課題の解決につながるサービスを提供しています。また、少子高齢化の進展で不安視される社会保障制度の維持に対して、お金や健康に関する不安への備えとなる商品やサービスを提供し、安心で健康な暮らしの実現に貢献しています。

#### 高齢化社会対策

- オリックス自動車は、高齢ドライバーのご家族向けに、テレマティクス技術を活用した事故リスクを低減するあんしん運転見守りサービスを提供しています。死亡事故件数に占める高齢者比率は年々増えており、本サービスにより運転を「見える化」することで、危険運転の兆候を早期に把握することを目指しています。
- オリックス銀行では、高齢化の進展とともに高まる相続ニーズに応える商品として、通販型遺言代用信託を提供しています。また、高齢者が認知症などにより判断能力が低下し、意思決定ができなくなることへの備えとして、家族信託などの組成をサポートするサービスを提供しています。

#### 安心で健康な暮らしの実現

- オリックス生命は、お客さまのニーズに応じた最適な保険をご提供できるよう、新商品の研究および開発に努め、豊富な商品ラインナップを取り揃えています。また、お客さま本位の業務運営の実現に向けて、業務の改善や新たなサービスの創出を目指しています。  
保有契約件数：452万件（2020年3月末時点）
- 予防医療サポート事業を行うフリールは、日本初のメディカルモバイルサービス会社として、MRI装置やCT装置をはじめとした高度画像診断装置搭載車のレンタルサービスを提供し、広範囲な地域医療サービスに貢献しています。

各事業の詳細

▶▶▶ [高齢化社会対策／安心で健康な暮らしの実現](#)

### スマートでレジリエントな社会の実現

オリックスでは、自動車事業において、企業の労務管理や事故の未然防止を支援するサービスの提供、災害対応や業務効率化を実現する特殊車両の開発、レンタル事業では企業の研究開発を支援するサービス、不動産事業ではBCP対策を施した不動産開発などに取り組み、スマートでレジリエントな社会の実現に貢献しています。

#### 自動車事業（数値はいずれも2020年3月末時点）

- テレマティクスサービスは、車両運行データを分析して、企業の車両運行管理における「コンプライアンス」「安全」「環境」面での課題を可視化し、ドライバーの適切な労務管理、事故の未然防止についてコンサルティングサービスによりサポートします。  
テレマティクスサービス[e-テレマ][e-テレマPRO]提供車両台数：159,000台
- 「移動金融車（移動店舗車）」や「オフィスカー（移動事務所車）」を企画・開発しています。金融機関は「移動金融車」の導入で、自然災害への備えや、店舗統廃合を行った地域での金融サービスの提供ができます。企業は「オフィスカー」の導入で、労務効率向上や従業員の疲労軽減ができます。  
移動金融車 取り扱い台数：137台  
オフィスカー レンタル台数（在庫数）：全国で273台

各事業の詳細

▶▶▶ [スマートでレジリエントな社会の実現](#)

## 地域活性化

オリックスでは、コンセッション事業、農事業、旅館運営事業などを通じて、地域の活性化に貢献しています。



### 地域活性化

#### • コンセッション事業

日本政府は経済活性化と財政健全化に向けてコンセッションを推進しており、インフラ老朽化、人口減という社会全体の課題への対応として、オリックスも積極的に取り組んでいます。関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港の3空港を運営し、地域の企業や自治体と連携してビジネスや観光需要の増加を目指しています。

#### • 農事業

大規模水耕栽培施設や完全人工光植物工場などの新しい事業形態でのビジネスモデルの創造に取り組み、日本の農業の発展に寄与しています。

#### • 旅館運営事業

日本各地の老舗旅館の再生事業においては、地元従業員の雇用継続を重視しています。新規設備投資の実施やサービスレベルの改善による来館者の増加は、観光客増加にも貢献しています。

各事業の詳細

▶▶▶ [地域活性化](#)

## 中小企業の活性化

中小企業は日本経済で重要な役割を果たしています。オリックスでは、主要なお客さまである中小企業が抱える経営課題やニーズに対して、ファイナンスに加え、さまざまなサービスを提供して、その活性化と成長をサポートしています。



### 中小企業の活性化

- 事業承継支援は、中小企業の事業承継ニーズに対応する取り組みです。支援対象企業の社名や従業員の雇用も維持しながら、内部管理体制の整備や、後継者育成などに企業とともに取り組み、対象企業の存続に加え、地域経済の発展や雇用創出も目指します。
- 中小企業向け業務ソフトウェアサービス事業は、各種業務ソフトウェア開発・販売および導入後のサポートサービスの提供を通じて、中小企業・個人事業主・起業家を支援します。会計業務の大幅な効率化支援だけでなく、販売管理や給与計算サービスも提供しています。

各事業の詳細

▶▶▶ [中小企業の活性化](#)

## 部門長メッセージ サステナブルな事業活動

### 未来のモビリティ社会を目指したサービスを展開

オリックス自動車では、自動車関連サービス会社として、お客さまに最適な移動手段を提供するとともに、企業活動における環境負荷の低減・交通事故の削減・コンプライアンスの強化に資する商品やサービスを提供し、持続可能な社会づくりに貢献しています。

自動車に関連する技術革新やマーケットニーズの変化はますます加速する一方であり、オリックス自動車にとっては絶好の事業機会となっています。当社の強みは、自動車に関するあらゆるサービスを全国で提供していることです。これ

らサービスから得られる膨大な車両データを活用し、またお客さまの声に耳を傾け、未来のあるべきモビリティ社会をイメージしながら、より安心安全かつ環境負荷低減に寄与するモビリティサービスの開発を進めていきます。また、当社と協働して事業を進めていただいている代理店さま、整備工場さま、レンタカーFCさまなどビジネスパートナーの皆さまとの協力関係をより深化させ、よりきめ細かい持続可能なサービスの提供を目指してまいります。

グループ執行役員  
オリックス自動車株式会社  
代表取締役社長

上谷内 祐二

### 法人のさまざまな課題に最適なソリューションを

法人営業部門はオリックスの祖業であり、現在に至るまで、グループ営業の中核的なプラットフォームの役割を担っています。当事業では、主要なお客さまである中堅・中小企業に、各種設備のリース、融資に加え、さまざまな商品・サービスを幅広く提供し、またニーズや経営課題に対する最適なソリューション提案を行っています。

高齢化が進む日本では、後継者不在を理由とした中小企業の廃業は大きな社会問題です。中小企業を顧客基盤とする当部門にとっても重要な課題であり、2018年に中小企業の事

業承継のニーズに対応する専門チームを立ち上げました。事業承継の取り組みでは、近視眼的視野で収益や成長を追求するのではなく、中小企業の後継者問題を解決し、事業の継続に注力します。このようにして、地域に欠かせない中小企業の維持そして発展に貢献することは、地元の雇用創出、地域経済の活性化にもつながります。10年後には、累計で数百社の支援をしたいと考えています。そこから、新たな事業の連携やマーケットが生まれることも期待しています。

取締役 兼 専務執行役  
法人営業本部長  
オリックス自動車株式会社  
代表取締役会長  
オリックス・レンテック株式会社  
代表取締役会長

松崎 悟

## 社会貢献活動

オリックスでは、事業を通じた社会課題への貢献に加え、事業活動だけではカバーしきれない社会課題、環境課題に対して、さまざまな取り組みを行っています。

### 環境保全活動

オリックスは、2008年に、計10,000本のサンゴ苗の植樹を行うことを目的に、沖縄サンゴ礁再生プロジェクト「SANGO ORIX」を立ち上げました。2016年度までに植樹を終え、現在はオリックス宮内財団を通じたサンゴ苗の移植支援活動を行っています。

また、ORIX METRO Leasing and Finance Corporation (フィリピン)は、ルソン島サン・ミゲル湾沿いのCagsao地区で、2012年よりマングローブの植樹活動を行っています。



サンゴの苗作り

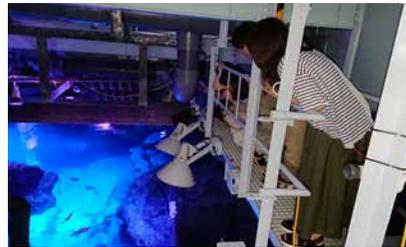


マングローブの植樹活動

### 子どものための活動

オリックスは、経団連の関連組織である一般財団法人経済広報センターが事務局となり実施される教員の民間企業研修として、小学校・中学校などの教職員を受け入れています。

すみだ水族館は、墨田区教育委員会事務局が主管する学校支援ネットワーク事業に参画し、墨田区立の小学校で出張授業を行っています。また、京都水族館は、京都の川の象徴的な生きものであるオオサンショウウオを題材に、京都市内の小学校で出張授業を行っています。



教員の民間企業研修  
(すみだ水族館見学の様子)



京都水族館による出張授業

### 地域貢献活動

オリックスは、枕崎空港をメガソーラーに転用した発電所で、敷地内に天体観測所を設置し、地域住民が集う場所を提供しています。

ORIX Australia Corporation Limitedは、飢餓救済団体「Foodbank」や、若手のガン研究者を支援する団体「Cure Cancer Australia」の支援を行っています。また、慈善団体「United Way」を通じて、子どもの教育支援活動として資金を提供したり、若者の就職支援を行っています。

- 上記以外の取り組みについて ▶▶▶ [社会貢献活動](#)  
 財団活動を通じた社会貢献活動 ▶▶▶ [オリックス宮内財団](#)  
 ▶▶▶ [ORIX Foundation\(米国\)](#)



枕崎市枕崎空港跡地第一発電所・第二発電所にある天体観測所内部



Foodbankボランティアに参加するORIX Australia Corporation Limitedのスタッフ